

## 国語 第6学年 つないで、つないで、一つのお話

### 自分の学級に合わせて直すプロンプト

下の枠の文を全部そのままAI（ChatGPT・Claude・Gemini など）に貼り、質問に答えると、この単元の学習指導案が自分の学級に合わせて直ります。枠の後半には、直す対象の学習指導案が入っています。

あなたは小学校国語の授業づくりを手伝う役です。この後に貼る指導案を、私の学級に合わせて書き直してください。最初に、児童の既習事項と今の学習状況、読む・書く・話す・聞く際に必要な配慮、学校の年間計画と使える時間、研究授業で確かめたいこと、使える資料と道具を一項目ずつ質問し、回答を待ってから次へ進んでください。条件がそろったら、次のねらいを保ってください。前の人が話した内容を受け、話の筋がつながるように言葉を足す。目標・評価規準・単元計画・本時の活動を対応させ、本文を省略せず書き直してください。教材本文・台詞・挿絵・教科書固有の問題文は転載しないでください。教材名と公式の総時数は出典を照合し、独自の時間配分は授業案として区別してください。人数や分数を事実のように補わず、回答がない条件は未確認としてください。児童の反応は予想と明記してください。三重の指導案の見出し順を保ち、先生向けの文章に内部IDなどを出さないでください。変更箇所と、その根拠となった回答・出典を最後に示してください。直す対象の指導案を以下に貼ります。

————ここから直す対象の学習指導案————

#### 第6学年 国語科学習指導案

1 単元名「つないで、つないで、一つのお話」 教材名「つないで、つないで、一つのお話」

#### 2 単元の目標

言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。（〔知識及び技能〕(1)ア）

自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができる。（A(1)エ）

前の人が話した内容を受け、話の筋がつながるように言葉を足す学習の中で、言葉への関心をもち、自分の取り組みを見直そうとする。

#### 3 単元の評価規準

〔知識・技能〕①言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア）

〔思考・判断・表現〕①「話すこと・聞くこと」において、自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめている。（A(1)エ）

〔主体的に学習に取り組む態度〕①前の人が話した内容を受け、話の筋がつながるように言葉を足す学習に進んで取り組み、友達の反応や自分の記録を確かめながら、言葉の使い方や捉え方を見直そうとしている。

#### 4 指導上の考察

##### （1）単元について

前の人が話した内容を受け、話の筋がつながるように言葉を足す。この教材では、共同で作った話の流れと、前の発言を受けた工夫の記録を残し、言葉をどう使ったか、どう捉えたかが分かるようにする。

##### （2）児童について（学級の実態を書く）

##### （3）指導について

人物・場所・起きたことを短いメモで残し、次の話し手が参照できるようにする。面白さの競争より話のつながり確かめる。想定する難しさは、自分の思い付きだけを話し、それまでの人物や出来事とつながらない。評価では、自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめているかを、共同で作った話の流れと、前の発言を受けた工夫の記録と活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。

#### 5 指導と評価の計画（全1時間）

第1次 第1時（本時）：○相手と話す目的を確かめ、聞いて知りたいことや話す材料を出す。教師の独自の短い導入に、交代で続きの出来事を加える。前の内容と矛盾しないかを聞き合い、まとまりを確かめて話を終える。聞き手が受け取った内容を話し手に返す。伝わらなかったところを聞き返し、言い方や聞き方を試し直す。 評価：思①（発言・活動中の記録・作成物）

## 6 本時の指導 (1/1)

### (1) 本時の目標

自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができる。(A(1)エ)

### (2) 学習過程

#### 【導入】

学習活動：相手と話す目的を確かめ、聞いて知りたいことや話す材料を出す。

○「前の出来事を受けるなら、どんな続きが考えられますか」

【めあて】前の人が話した内容を受け、話の筋がつながるように言葉を足す。

予想される児童の反応：・前の出来事を受けると次の場面がつながる。

指導上の留意点：最初の言い方や記録を残し、授業後の考えと比べられるようにする。正答を先に示さず、扱う言葉と課題を確認する。

#### 【展開】

学習活動：○「前の出来事を受けるなら、どんな続きが考えられますか」

教師の独自の短い導入に、交代で続きの出来事を加える。前の内容と矛盾しないかを聞き合い、まとまりを確かめて話を終える。

聞き手が受け取った内容を話し手に返す。伝わらなかったところを聞き返し、言い方や聞き方を試し直す。

予想される児童の反応：・前の出来事を受けると次の場面がつながる。

・人物が急に変わった理由を補いたい。

指導上の留意点：人物・場所・起きたことを短いメモで残し、次の話し手が参照できるようにする。面白さの競争より話のつながり確かめる。

想定する難しさ：自分の思い付きだけを話し、それまでの人物や出来事とつながらない。

評価では、自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめているかを、共同で作った話の流れと、前の発言を受けた工夫の記録と活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。

評価：思①自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめている。(発言・活動中の記録・作成物)

#### 【まとめ】

学習活動：【まとめ】問いへの答えを、今日確かめた言葉や表現を含めて話す。

共同で作った話の流れと、前の発言を受けた工夫の記録を見返し、初めと変わった点や、そのまま残した理由を確かめる。

予想される児童の反応：・人物が急に変わった理由を補いたい。

指導上の留意点：教師のまとめを写すだけにせず、本人が選んだ言葉と理由を確かめる。態度は本時だけで決めず、単元を通した取り組みと調整の記録を合わせて判断する。

評価：態①(最初と最後の記録、見直しの理由)

### (3) 板書計画 (縦書き・右から左へ)

縦書きで、右から左へ学習の流れを配置する。右端に題名とめあて、その左に問い「前の出来事を受けるなら、どんな続きが考えられますか」。中央は、共同で作った話の流れと、前の発言を受けた工夫の記録に必要な言葉・材料と、考えた理由を対応させる。本文を扱う場合は先生が手元の教科書から必要な範囲を示す。左側に比べて気付いた点と見直した箇所、左端に本時で確かめたことを置く。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie\_ai\_katsuyo)

[https://www.threads.com/@mie\\_ai\\_katsuyo](https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo)

LINEオープンチャット  
みえ先生ラボ

